



# WINE CELLAR

---

ワインセラー 6本収納タイプ

WA-6-K

WA-6-BR

WA-6-S

Angelshare

このたびは、家庭用電子式ワインセラー(6本用) WA-6 シリーズをお買い上げいただきまして、ありがとうございます。

ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。また、お読みいただいた後は保証書とともに、大切に保管してください。

## ご注意

本機は日本国内専用です。交流100V以外のコンセントには接続しないでください。  
本書の内容は改善のため、予告なく変更することがあります。

本機はワインの良好な貯蔵環境を提供するもので、ワインそのものの品質を保証するものではありません。  
また、ワインセラーの運転状態や庫内温度、ワインの保存状態、結露の状態など常に注意を払うよう心がけてください。

なお、万一、停電、本機の故障、取り扱い不良によるワインの劣化などがありましてもワインそのものの弁償は致しかねますのでご了承ください。

## ご不明な点や修理に関するご相談は

お取扱いや、お手入れに関するご不明な点や、修理に関するお問い合わせは下記のカスタマーサポートセンターにご相談ください。

### 《本製品に関するお問合せ》

デバイススタイル カスタマー サポートセンター

**電話 048-664-3477**

e-mail: customer.support@devicestyle.co.jp

〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町1丁目677

営業時間: 平日午前9時～午後6時  
(土日、祝日及び長期休暇を除きます。)

## もくじ

はじめに .....	2	保存のしかた .....	10
おもな特徴 .....	3	瓶やラベルを美しく保つためのコツ .....	11
安全上のご注意(必ずお読みください) .....	4	お手入れのしかた .....	13
据え付け場所について .....	6	ワインセラーを積み重ねるときは .....	15
各部の名前と準備 .....	7	故障かな?と思われる前に .....	16
ワインセラー使用上のご注意 .....	8	主な仕様 .....	17
庫内の湿度を調整する .....	8	保証とアフターサービス .....	19
ワインを保存する .....	10		

## おもな特徴

ワインの保存、熟成には10℃から16℃程度の一定の温度で、温度変化が少なく、振動のない場所で、しかも、適度に湿度のある紫外線などの当たらない場所に保管しておく必要があります。せっかくおいしいワインを手に入れても一般のご家庭ではワインをおいしく保存、熟成しておける環境がありません。

電子式ワインセラー WA-6シリーズは、ご家庭で手軽に理想的な保存環境を提供いたします。

### 理想的なワインセラー

電子式ワインセラーWA-6シリーズは家庭用の冷蔵庫と異なり、ワインの貯蔵に最適な数々の条件を備えています。

### 最適な温度

ワインの最適な貯蔵温度は約10℃から16℃程度とされています。

WA-6シリーズはワインの品種や、産地によって庫内温度を約12℃、14℃、16℃の三段階に設定することができます。

### 外気温度が低くてもOK

一般の冷蔵庫と異なり、ペルチェ素子\*に流す電流の量や、流す向きを常にコントロールすることにより外気温度が設定温度よりも低い場合でも庫内を暖めて、一定の温度に保ちます。

### 温度変化が家庭用冷蔵庫の1/5（当社調べ）

ワインの貯蔵には極力温度変化の少ない環境が必要です。

WA-6シリーズで採用しているペルチェ素子は流す電流によって、温度をコントロールできるため、温度変化を非常に少なくすることができます。

### 振動が少ない

ワインには振動も禁物です。ペルチェ素子には可動部がありませんので、一般の冷蔵庫のようにコンプレッサーがオン・オフするときに発生する振動がありません。

### 適度な湿度が保てる

コルク栓ちぢみの縮を防ぎ、ワインの酸化を防止するために、ワインの保存には湿度65%以上が必要だとされています。

WA-6シリーズは一般の冷蔵庫のように乾燥することなく、ワインの保存に最適な約65%以上の湿度が保てます。

### 約15dBの静かな運転音

WA-6シリーズはコンプレッサーが無く、静粛性を実現するために特別に設計された小さなファンが回っているだけです。そのため静かな室内でも運転音がほとんど気にならない15dB程度となっています。

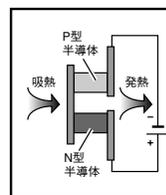
### 環境にやさしいノンフロンタイプ

WA-6シリーズは冷媒(熱交換するためのフロンなど)を使用していないため、環境にもやさしい設計です。

#### \* ペルチェ素子とは

2種類の金属や、半導体の接合されたものに直流電流を流すと一方は吸熱し、反対側は発熱する効果があります。これを発見者の名前をとって、ペルチェ効果と言います。このペルチェ効果を応用したペルチェ素子の最大の特徴はポンプなどの可動部を使わずに、しかも電流の量や、向きを変えることによって、温度コントロールが自由に行える点です。

本機で採用しているペルチェ素子ユニット「PV-2」は、繊細で扱いにくかった従来のペルチェ素子を丈夫で扱いやすく改良したものです。



ペルチェ素子の原理

# 安全上のご注意(必ずお読みください)

製品を安全にご使用いただくため、ご使用前によくお読みください。

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。

## 表示の意味



### 警告

この表示は、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



### 注意

この表示は、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

## 絵表示の例



⊘ 記号は、禁止の行為であることをあらわします。図の中や下に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



● 記号は、行為を強制したり指示する内容をあらわします。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。



## 警告



改造禁止

修理改造をしない。  
発火や、異常動作をして、破損や、けがの原因となることがあります。



禁止

濡れた手でプラグを抜き差ししない。  
感電のおそれがあります。



守る

電源プラグは専用コンセントに差し込む。  
一つのコンセントから複数機器をつなぐ「たこ足配線」をすると、ショート、火災の恐れがあります。



禁止

電源コードを無理に曲げたり加熱したり、ステープルで止めたり、重いものを乗せたり、そのほか無理のかかることをしない。  
ショートや、感電、故障の原因となります。



守る

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む。  
差込が不完全だと、感電や、ショート、発火の原因となります。



禁止

ワインセラーの上にものを置かない。  
落下してけがをしたり、水がこぼれて、漏電や、火災の恐れがあります。



禁止

交流100V以外のコンセントに接続しない。  
他の電源に接続すると故障や、発火の原因になります。



守る

お子さまのいたずらにご注意

ドアにぶら下がったり、上に乗ったりしないようにご注意ください。けがや、感電、故障の恐れがあります。



禁止

本体や、庫内に水をかけない。  
ショートや、感電、故障の原因となります。



守る

転倒防止の処理をする。

ワインセラーを重ねて使用する際に地震などで転倒すると、けがや、故障の恐れがあります。



禁止

風呂場など湿度の高い場所に設置しない。  
ショートや、感電、故障の原因となります。



守る

吸・排気口にピン、クリップ、針などの異物を入れない。  
故障、火災や感電の恐れがあります。


**警告**


禁止

本体裏の予備コンセントには、WA-6シリーズ以外の機器を接続しない。

感電、ショートや発火の原因となります。

プラグを  
抜く

お手入れの際は電源プラグを抜く。  
感電の恐れがあります。



禁止

制限台数を超えるワインセラーを接続しない。

背面の予備コンセントに連続して接続できるWA-6シリーズの台数は5台までです。制限を越える接続は感電、ショートや発火の原因となります。



守る

廃棄をするときはドアパッキンを外す。  
幼児が閉じこめられる恐れがあります。  
※ドアパッキンは強く引っ張るとはずせます。



禁止

可燃性スプレーをワインセラーにかかけたり、近くで使ったりしない。

電気接点の火花などで引火する恐れがあります。



禁止

ほこりの多い場所には設置しない。  
電源プラグにほこりが付着するとショートや、過熱、故障の原因となります。

プラグを  
抜く

煙が出たり、異常なおいがしたり、異音が出るような場合は、すぐに電源プラグを抜いて、修理をご依頼ください。


**注意**
プラグを  
抜く

長期間使わないときはプラグをコンセントから抜く。

けがや、劣化による感電、漏電による火災などの原因となります。



禁止

ワイン棚を取り外して、ワインを積み重ねたりしない。

ワインが滑り落ちて、けがや、故障の原因となります。



禁止

不安定な場所に置かない。

転倒によるけがや感電のおそれがあります。



禁止

本体を水や洗剤などに浸さない。  
故障の原因となります。



守る

電源プラグを抜くときはコードを引っ張らずプラグを持って抜く。

断線や、感電、ショート、発火の原因となります。



禁止

本体をアルコール、シンナーなどの薬品で拭かない。

塗装を傷つけたり、プラスチックを痛めます。



禁止

ワインは不安定な状態で保存しない。

ワイン棚の定められた場所に不安定にならないように保存してください。

ワインが滑り落ちて、けがや、故障の原因となります。



禁止

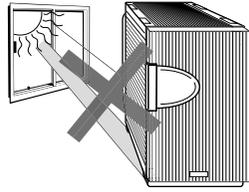
ワイン以外のものを保存しない。

温度や、湿度がワイン専用設定されています。その他の食品の保存には適しません。

## 据え付け場所について

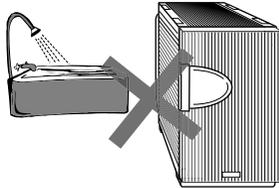
### 直射日光や、暖房器具など熱の当たらないところ

熱効率を良くして、電気代のムダを無くしましょう。



### 湿気が少ないところ

湿度が高いとサビや故障の原因になります。



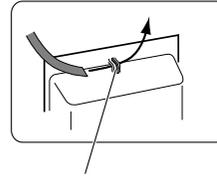
### 転倒防止の処置をする

(本機を積み重ねる場合は必ず実施してください。)

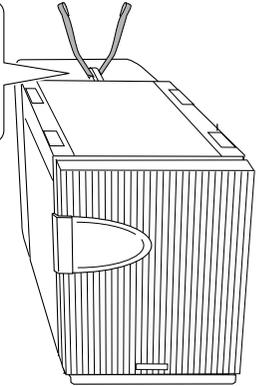
市販の家具用転倒防止ベルトなどで固定してください。

転倒防止ベルト

丈夫な壁などに固定する

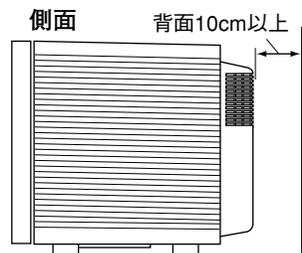
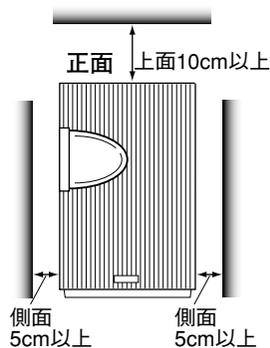


転倒防止用フックにベルトを通す。



### 放熱スペースをあける

庫内温度を一定に保つため、排気口から熱を放出します。上部および背面を10cm以上、左右、を5cm以上空けてください。



じゅうたん、カーペット、ビニールタイルなどの上に直接置くとあとがつかます。この場合は丈夫な板を敷いて、その上に設置してください。

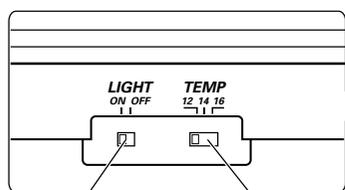
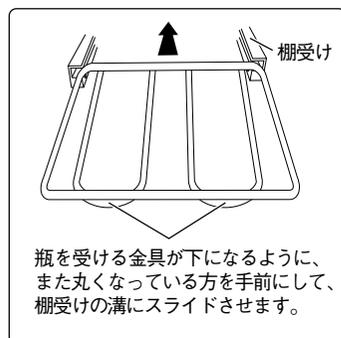
### ラジオ・テレビから離しておく

ラジオ・テレビの近くに置くとラジオ・テレビに雑音や、画面に縞模様が入ることがあります。

# 各部の名前と準備

## ワイン棚の取付

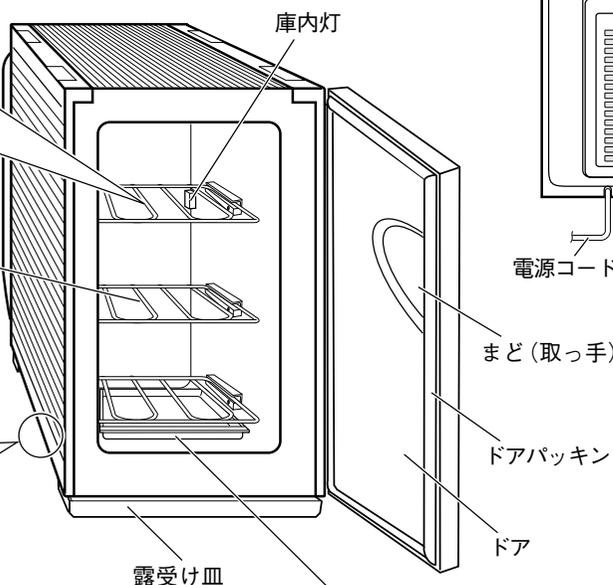
梱包を開いた後、保護用テープをはがしてセットしてください。



庫内灯  
オン/オフスイッチ

ON側にスライドさせると点灯します。

庫内温度切換えスイッチ



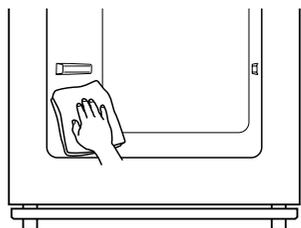
加湿トレイ (スポンジ付)  
梱包を開いた後、保護用テープをはがしてください。

● 加湿トレイは冬期間など外気の湿度が低いときだけ使用するようにしてください。

## ワインを保存する準備

### 1. 庫内をきれいに拭く

ご使用前に、ぬるま湯を浸してよく絞った布で庫内を拭いてください。



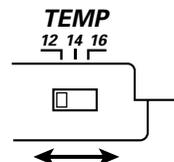
### 2. 電源コードを差し込む

壁のコンセントに電源コードを差し込みます。電源コードをコンセントに差し込むとワインセラーの電源が入ります。一つのコンセントから複数の機器をつなぐ「たこ足配線」はしないでください。



### 3. 庫内温度を設定する

庫内温度の設定は12℃、14℃、16℃の3段階に切り換えられます。ワインの種類などお好みに合わせて、切り換えてください。



設定温度は、周囲の温度が30℃のとき、ワインを入れてドアを閉め、安定したときの目安です。ドアの開閉や、ワインの出し入れによって、温度は変化することがあります。

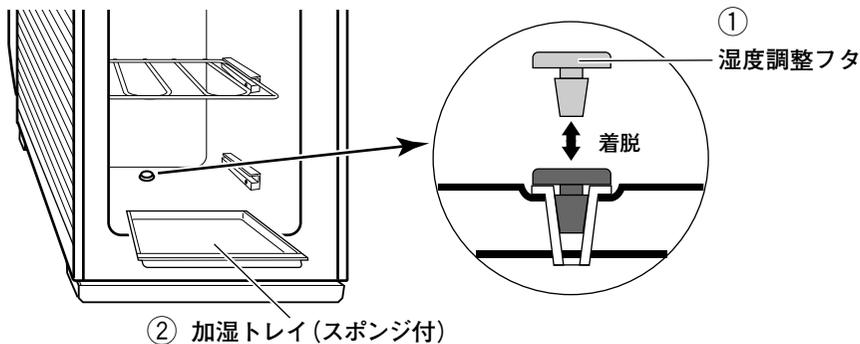
## 庫内の湿度を調整する

この製品は、ワインの貯蔵に適した湿度を保つため、湿度調整機能として①「湿度調整フタ」、②「加湿トレイ」を備えております。

ご使用前は、湿度調整フタが閉じた状態にセットされております。製品のご使用状態に合わせて、調整機能をお使いください。（比較的湿度の高い気候の日本では、この出荷状態でのご使用をまずはおすすめします。）その後、庫内の状態を見ながら以下を参考にしてください。

### 湿度調整の機能

- ①製品の庫内奥にあります「湿度調整フタ」を着脱して、庫内の湿度を調整します。
- ②製品の庫内下に設置されている加湿トレイのスポンジに水を含ませ、庫内の湿度を調整します。



**重要**  
☞

加湿トレイはスポンジに水道水を浸して庫内の一番下部に置きます。

- 加湿トレイには水道水以外を入れないでください。
- トレイに水を入れすぎないでください。
- 加湿トレイを使用中にワインの瓶に結露するようであれば、庫内の湿度が高すぎますので、加湿トレイの使用を中止してください。（加湿トレイの水を捨てて、庫外で乾かしてから戻します。）

## 湿度調整機能の使いかた

### 庫内の湿度が低いとき

冬場などの外気の湿度が低いとき、夏場でもエアコンや除湿器などを頻繁にご使用されると、庫内の湿度が低くなる場合があります。

#### このようなときは

- ・ 湿度調整フタを取り外してお使いください。
- ・ 湿度調整フタを取り外しても、庫内の湿度があまり上がらないときは、加湿トレイのスポンジに少量の水を含ませご使用ください。

#### ご注意

- ・ 加湿トレイをご使用の際は、一度に大量の水を含ませると、庫内の湿度が高くなりすぎて、ワインのラベルが剥れたり、カビが発生することがあります。  
ワインの瓶に結露が発生するようであれば、庫内の湿度が高くなりすぎています。加湿トレイの水の量を減らすか、加湿トレイのご使用をおやめください。

### 庫内の湿度が高いとき

夏場などの外気の湿度が高いとき、冬場でも加湿器を頻繁にご使用される場合や暖房機器が近くにありますと庫内の湿度が高くなる場合があります。

#### このようなときは

- 湿度調整フタを取り付けてご使用ください。(加湿トレイのご使用は避けてください)  
(8ページの図、参照)
- 加湿器や暖房機器などを近くでご使用されることは避けてください。

## 保存のしかた

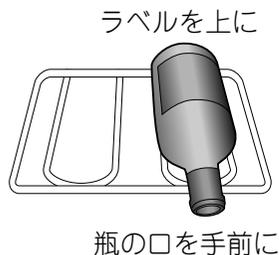
ワインセラーは、ワインの熟成に必要な質の高い保存環境を提供するために、性能開発され製造されています。

## コルクを湿らせ、乾燥を防ぐ

- ・ ボトル内のワインを変質から守るための最も重要なポイントは、ワインのコルク栓が十分に湿って膨張していることです。
- ・ 十分な湿度によって膨張したコルク栓はカビや雑菌をシャットアウトし、ワイン酵母の活動に必要な空気だけを届ける大事な役目をおっています。

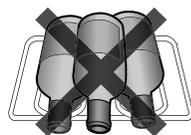
電源コードをコンセントに差し込むとワインセラーの電源が入ります。庫内の温度が安定するまで約3時間待ってワインを入れてください。

## 瓶の口を手前にしてワインを入れる



## 注意

ワインを置く場合、1つの棚に2本までにしてください。本数を多くしたり瓶を重ねて置いたりすると崩れたり、滑り落ちたりする危険があります。  
また、棚を外して積み重ねたりしないでください。



## ワインを保存する(つづき)

### 瓶やラベルを美しく保つためのコツ

- ・ 一見して清潔そうに見えるワインボトルにも、えてして微量のカビが付着している事があり、外気より極めて湿潤に保たれたワインセラーの中で突然、繁殖することがあります。(ワインセラーよりもはるかに低い保存温度の冷蔵庫でもカビが発生する事でも理解できますが。)
- ・ 庫内でたとえカビが発生しても、ワインコルクは十分な湿度を保っているので内部のワインに問題はありませんが、瓶やラベルをより美しく保つためのコツとして、以下を参考にご使用ください。

### カビの発生を少しでもおさえるために

#### 1. 瓶をきれいに拭く

ワインの瓶にはカビの胞子が付着していることが良くあります。

保存される前に、ワインの瓶を良く拭いてください。

まず、清潔な柔らかい布をぬるま湯で浸した後、強く絞って瓶やラベル、キャップをよく拭きます。瓶の底の窪みやコルク廻り、ラベルの端面など思わぬ所にカビの胞子が潜んでいることがあります。

その後、もう一度乾いた柔らかい布でよく拭きます。

その際、手の指紋や脂を瓶に出来るだけつけない様にする事が大事です。



#### 2. ワインのラベルをラップで巻いて

ワインのラベルはカビが繁殖しやすい場所です。ラップをまいて外気と触れないようにすると、カビの発生を少しでもおさえることができます。

- ・ ラップはワインのラベルより少し大きいくらいのものを使用してください。

あまり大きなものを使用するとラップにしわが出来て、瓶と十分に密着しません。

(普通のラップ幅の半分位のミニサイズが便利です)

- ・ ラップの巻き始めはしわになり易いので、図のようにワインのラベルに掛からない位置から巻くと良いです。

巻きつけるときは、ラップを引っ張りながら、瓶に押し付けるように2回巻いてください。巻きつけた後で、ラップから余計な空気を押出しておく事がコツです。





### ワインの<sup>オリ</sup>澱について

ワインを保存しておくときに下に固形物が沈殿していることがあります。これは澱と言って、ワインの熟成過程で自然に発生するもので、体に害を与えるものではありませんがワインの風味を損ねるものです。

特に澱の多い場合は、澱がグラスに混ざらないように瓶をワインセラーから出して数時間立てておくか、またはデカント\*をして澱を取り除いてからグラスに注ぐようにしてください。

#### \*デカント(デカンタージュ)

おもにワインの澱を取り除く目的で、瓶からデカンターと呼ばれる器に移し替えることを言います。デカントをすると、一般には今まで眠っていたワインの香りを引き出す効果があります。ただしデカントの効果は、ワインの種類やヴィンテージなどによって一概にはいえません。

### ワインは飲み頃温度にして

ワインの熟成、保存に適した温度と、おいしい飲み頃の温度は異なります。

お召し上がりになる前に飲み頃温度にしてからお楽しみください。

ポルドーの赤など重めの赤ワインは18℃前後、ボジョレー・ヌーボーなど軽い赤は12℃などが目安となります。

ロゼや、白ワインは10℃前後、スパークリングワインは5℃位が適温とされています。

冷やしてお飲みいただく場合はワインクーラーなどをご使用ください。



### 飲み残したワインは

飲み残したワインは空気に触れないようにしておくことが大切です。一例として、ハーフサイズのボトルに移し替えた上、なるべく空気の入らないように一杯にし、しっかりとコルク栓をすればワインの劣化を防ぐことができます。



### 停電をしたときは

ドアの開閉をせず、ワインの出し入れをしないで、庫内温度を保つようにしましょう。

### 長期間使わないときは

電源プラグを抜いて、庫内を良く乾拭きして、2~3日ドアを開けておくとカビや、においの発生を防げます。

# お手入れのしかた

ワインセラーを清潔に保ち、また安全にお使いいただくために年に1回は電源プラグを抜き、庫内の清掃とプラグの点検をしてください。

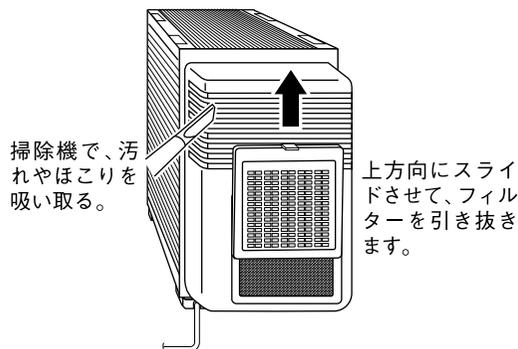
**重要** 吸・排気口、フィルターなどは目づまりすると冷却効率が悪くなるばかりでなく、過熱する恐れがありますので、2~3ヶ月に一度チェックをして清掃してください。(ほこりの多い所でご使用の時はよりこまめにチェックしてください。)

## 警告

- お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く  
感電の原因になります。
- 濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない  
感電の原因になります。
- 本体や、庫内に水をかけない  
漏電や、火災の原因になります。
- 電源プラグのほこりは定期的に取り  
ほこりは漏電や、火災の原因になります。

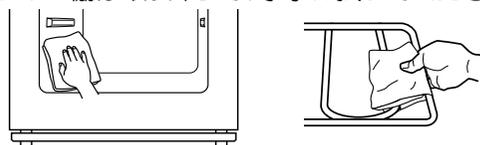
## 吸・排気口、フィルターの清掃

ほこりの付き具合を時々チェックして、掃除機で、汚れやほこりを吸い取ってください。フィルターの汚れが落ちにくい場合は、家庭用中性洗剤で洗って、良く乾かしてから、元通りに取り付けてください。予備コンセントにコードが差し込まれている場合は抜いてからフィルターを取り外してください。



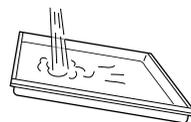
## 庫内、ワイン棚、ドアパッキンの清掃

柔らかい布でから拭きしてください。汚れが落ちにくいときは薄めた中性洗剤を含ませた布で拭いた後、水を含ませた布で良く洗剤を拭き取ってください。ワイン棚は取り外して、丁寧に拭いてください。



## 加湿トレイ、露受け皿の清掃

加湿トレイ、スポンジ、露受け皿は外して、水洗いしてください。



**重要** 清掃のときは、次の製品は使わないでください。

- 「アルカリ性」または「弱アルカリ性」洗剤（洗剤のラベルに表示されています。）  
プラスチック製品にひびが入る恐れがあります。
- みがき粉、粉石鹸などや、たわし、ナイロンたわし、研磨粒子付き不織布などや酸、ベンジン、シンナー、アルコールなどの薬品  
プラスチック製品に傷が付いたり塗装面を痛めます。
- 化学ぞうきんは庫内に使わないでください。そのほかの部分には化学ぞうきんの注意書きにしたがってください。  
油が付着したときは、必ずふき取ってください。

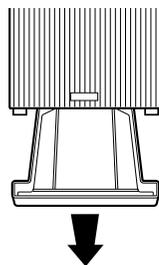
### まどに結露した場合は...

外気温が低かったり、部屋の湿度が極端に高い場合などに、ドア正面のまどに結露することがあります。結露を乾いた布で拭き取ってください。

### 露受け皿の使いかた

庫内に結露した水滴などは露受け皿にたまります。時々確認して、水を捨ててください。

露受け皿



### ワインセラーを移動するときは

次のことに十分ご注意の上、移動、運搬をしてください。

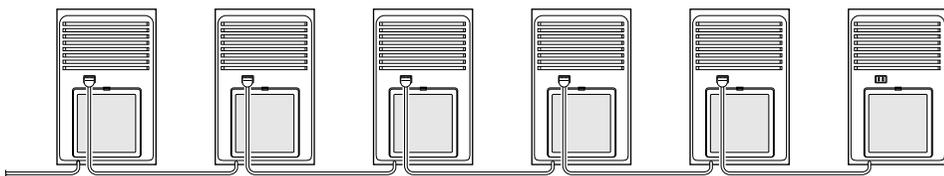
1. 露受け皿の水を確認する。(水がたまっている場合は捨てる。)
2. ワインは全て取り出す。
4. 移動するときに電源コードが引っ張られるようなときは電源プラグをコンセントから抜いて移動する。



- 電源コードを引っ張ったり、脚の下にはさんだり、絡んだりしないようにご注意ください。

本機の背面にあるコンセントに別のWA-6シリーズの電源プラグを接続することができます。

壁の  
コンセントへ



- 電源コンセントの容量を越えた機器を接続することは絶対にしないでください。
- 1台に連結して接続できる台数は5台までです。これ以上の台数を接続しないでください。故障・火災の原因となります。またWA-6シリーズ以外の機器は絶対に接続しないでください。
- 本機の予備コンセントにテーブルタップなどを接続して使用することはしないでください。

### お手入れの後は！



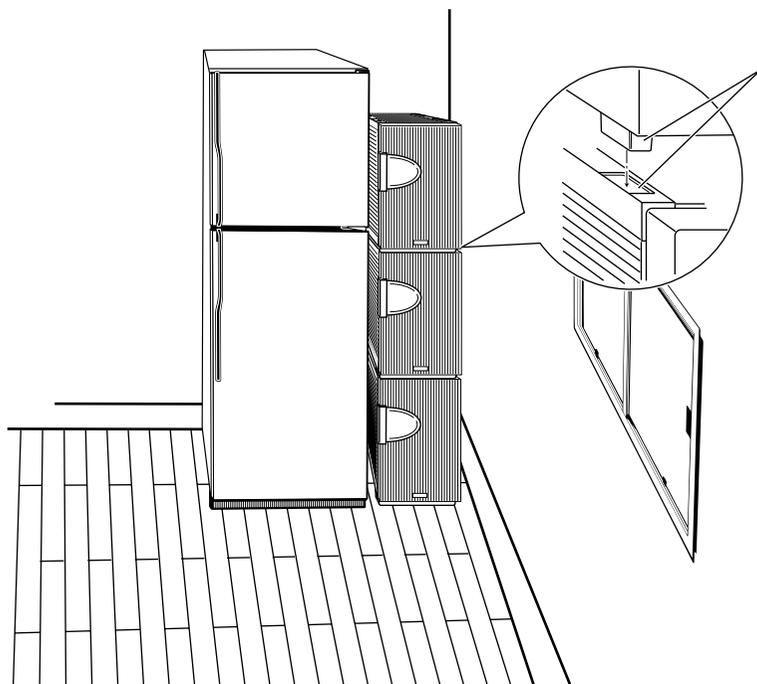
愛情点検

電源プラグのほこりを良くふき取って、コードに損傷がないか点検してください。その後、電源プラグを壁のコンセントにしっかりと確実に差し込んでください。

プラグや、電源コードに異常があった場合は、使用を中止し、「デバイススタイル カスタマーサポートセンター(電話 048-664-3477)」へご連絡ください。

## ワインセラーを積み重ねるときは

本機は3台まで積み重ねることができます。



本体上部のくぼみに、積み重ねる本体の脚部を合わせます。



安全のため、段積みする場合は、セラーの両側にしっかりした壁や、冷蔵庫などの十分に重さと高さのある家具等の隙間に設置してください。



### ご注意

- 本機は3段まで積み重ねて使用することができます。転倒の危険がありますのでそれ以上は段積みしないでください。
- 段積みする場合は必ず転倒防止措置をしてください。転倒の危険があります。
- 3段積んだ場合の総重量は約60 kg になります。段積みする場合は特にしっかりした、きしみのない床に置いてください。
- 畳やカーペットの上での段積みは危険ですのでお止めください。
- 家具の上や高い場所等、床以外の場所での段積みはしないでください。
- 段積みする場合は、ワインセラーの両側面にしっかりした壁、又はタンスや食器棚等充分な重さと高さのある家具の隙間に設置してください。この場合、ワインセラーの側面と壁や家具との隙間は、左右各々5～15センチメートルの空間としてください。
- 壁等に密着させて設置することはしないでください。
- 段積みした場合、一番下のワインセラー以外は必ず市販の転倒防止ベルト等にてワインセラーを壁に固定して使用してください。
- 専用ラック(別売)で段積みする場合にもラックの転倒防止策を施してください。

## 故障かな?と思われる前に

温度がおかしい、大きな音がする。などの障害と思われる症状があるときは、まず下の表の原因を調べてください。それでも不都合なときは**デバイススタイル カスタマー サポートセンター**に直接ご連絡ください。

電話 **048-664-3477**

症状	原因
電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電源コードがコンセントに根元まで差し込まれていますか?</li> <li>● 停電していませんか?</li> <li>● プレーカーが切れていませんか?</li> <li>● フィルターがほこり、ゴミなどで目詰まりしていませんか? (電源プラグをコンセントから抜いて、フィルターを清掃後、約3分待って、再度電源プラグを差し込んで確認してください。)</li> </ul>
よく冷えない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ワインセラーに直射日光が当たったり、ストーブの熱が当たっていませんか?</li> <li>● 電源を入れてから十分に時間がたっていますか? (外部の条件により1日ぐらいかかることがあります)</li> <li>● 周囲のすき間を十分に空けていますか?</li> <li>● 吸気口、排気口にほこりがつまっていますか?</li> <li>● 吸気口、排気口がシートなどでふさがれていますか?</li> <li>● ドアにすき間が空いたまま使用していませんか?</li> <li>● ドアの開閉がひんぱんではありませんか?</li> </ul>
音がうるさい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● しっかりした床に設置してありますか?</li> <li>● ワインセラーにもものに乗っていたり、微妙にもものが触れていませんか?</li> </ul>
庫内に露が付く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 庫内に金属を使っているため、露が付くことがあります。乾いた布でふき取ってください。</li> <li>● 湿度が高いときでも加湿トレイを使っていますか? (冬場など湿度が低いとき以外は使わないでください。)</li> </ul>
ドアと本体の間に露が付く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 外気の温度や、湿度によって、露が付くことがあります。乾いた布でふき取ってください。</li> </ul>

# 主な仕様

種類	電子冷却式家庭用ワインセラー
定格内容量	19 L
収納本数	6本
外形寸法	(幅)260×(奥行)514×(高さ)435 (mm)
本体質量	12 kg
定格電圧/周波数	100V 50/60 Hz
定格消費電力	55W
電源コード有効長さ	1.9 m

本機の仕様は改善のため、予告無く変更することがあります。

---

*MEMO*

# 保証とアフターサービス

## 保証書について

- 保証書は必ず「販売店、購入日」等の記入をお確かめになり、保証内容などをよくお読みいただき大切に保管してください。保証期間はご購入日より1年間です。

## 補修用性能部品の最低保有期間

- この商品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後9年です。  
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 修理を依頼されるとき

- 保証期間中は  
保証の規定に従って修理させていただきます。
- 保証期間を過ぎているときは  
修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。  
この場合、部品代の他に、技術料と、出張料がかかります。
- ご連絡先は  
デバイススタイル カスタマー サポートセンターにご連絡ください。

デバイススタイル カスタマー サポートセンター

**電話 048-664-3477**

e-mail: [customer.support@devicestyle.co.jp](mailto:customer.support@devicestyle.co.jp)

営業時間:平日午前9時～午後6時(土日、祝日及び長期休暇を除きます。)

## 交換部品について

下記の交換部品を用意してあります。お求めは上記 **デバイススタイル カスタマー サポートセンター** に直接ご連絡ください。

部品名	部品番号
ワイン棚	WA6-TR
加湿トレイ	WA6-HT
加湿トレイ用スポンジ	WA6-SP

**廃棄時にご注意  
願います**

2001年4月施行の家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのワインセラーを廃棄される場合は、収集・運搬料金と再商品化等料金をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

株式会社  
デバイススタイルホールディングス  
〒107-0062 東京都港区南青山 5-9-6

サービス受付・修理品の送付先  
デバイススタイル  
カスタマー サポートセンター  
電話：048-664-3477  
〒331-0812  
埼玉県さいたま市北区宮原町1丁目677

